

# 自動運転(システムとサービスの拡張) 研究開発計画工程表

研究開発項目	2018年度計画	2019年度計画	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画	出口戦略	製品化
<p><b>[ ] 自動運転システムの開発・検証(実証実験)</b></p>							
<p><b>A) 臨海地区(一般道)</b></p>							
<p>A-1.オーナーカー 公道実証エリア基盤整備 信号情報利用</p>	<p>インフラ機器開発と 実証環境準備</p>		<p>オリパラ 自動運転実証</p>	<p>レガシー化・商品化に向けた自動運転実証</p>		<p>オーナーカー (一般道レベル2以上) 運転支援の高度化</p>	
	TRL4	TRL4	TRL6	TRL5	TRL8		
<p>A-2.次世代型公共交通 1) 公共バス</p>	<p>車両開発</p>					<p>都市公共交通システム 少人数輸送サービス 事業化(一般道)</p>	
	TRL4	TRL4	TRL5	TRL7			
<p>2) 少人数輸送 サービス</p>	<p>インフラ協調他 実証環境整備</p>						
<p><b>B) 高速道(都市間高速)</b></p>							
<p>B-1.オーナーカー 合流支援等</p>	<p>長期実交通流実態調査と インフラ実験機の設置証実験</p>		<p>オリパラ</p>			<p>オーナーカー (高速道路レベル4) (2025年目途)</p>	<p>2025年目途</p>
	TRL4	TRL4	TRL5	TRL7			
<p>B-2.物流サービス</p>			<p>SIP物流と連携し内容を検討</p>			<p>トラック (高速道路レベル4) (2025年目途)</p>	<p>2025年以降</p>
<p><b>C) 地方等(場所は今後決定)</b></p>							
<p>C-1.地方公共交通</p>	<p>長期実証実験</p>		<p>システム改善</p>	<p>移動サービスレベル4事業化 (他地域への展開)</p>		<p>移動サービス レベル4事業化 (2020~)</p>	<p>2020年以降</p>
	TRL5	TRL5	TRL8	TRL8			
<p>民間からの拠出(人材、物資、資金等)は、研究開発費等の総額(SIP予算と民間からの拠出との合計)の1/3以上を目指す。(5ヶ年全体)</p>							
<p>TRLは計画策定時の期待値であり、今後の研究に応じて変更がありうる。</p>							

# 自動運転(システムとサービスの拡張) 研究開発計画工程表

研究開発項目	2018年度計画	2019年度計画	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画	出口戦略	製品化
<p><b>[ ] 自動運転実用化に向けた基盤技術開発</b></p> <p><b>仮想空間での安全性評価環境の構築</b></p> <p>オリパラ 自動運転実証</p> <p>企画構想 ← センサー評価法 → 環境構築 ← → →</p> <p>← ドライバーモデル → ← → →</p> <p>TRL3 TRL6 TRL7</p> <p><b>効率的なデータ収集・分析・配信技術の開発</b></p> <p>← 新たな通信技術(V2X技術等を含む)の活用 → ← → →</p> <p>← 地図更新・ランドマーク → ← → →</p> <p>← 渋滞情報・障害物情報の車両制御への活用技術 → ← → →</p> <p>← 民間の車両プローブ情報等のデータ収集・分析・配信技術 → ← → →</p> <p>企画構想 ← → →</p> <p>TRL3 TRL5 TRL7</p> <p><b>ソフトウェア更新等に対応したセキュリティ技術の開発</b></p> <p>← 企画構想 → ← → →</p> <p>TRL3 TRL5 TRL7</p> <p><b>自動運転の高度化に則したHMIの要件化</b></p> <p>← 企画構想 → ← → →</p> <p>TRL3 TRL5 TRL7</p>							
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際連携活動</li> <li>社会受容性醸成活動</li> <li>移動制約者支援研究</li> </ul> <p>TRLは計画策定時の期待値であり、今後の研究に応じて変更がありうる。</p>							